

第4号議案 令和2(2020)年度事業計画(案)・予算(案)

まちづくり協議会の運営に関わる事業

①総会

①規約10条に基づき、総会を開催する。
※今年度は、議決権行使書による書面決議を行う。

②運営委員会

②規約11条に基づき、総会に諮る内容(規約改正、役員改選、事業内容、予算・決算、『まちづくり計画』改定)等を審議するため、運営委員会を年間4~5回開催する。

③事業連携交流会議

③規約22条に基づき、事業を展開する主体者どうしがヨコの関係を強め、活動内容の連携・交流・調整を進めながらまちづくり協議会一体となった活動を構築し実行・評価するために、運営委員会に準ずる会議として、年間4回程度、事業連携交流会議を開催する。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	情報発信活動	①柘植地域やまちづくり協議会の活動の様子や現状を伝えるため、『まちづくりだより』の発行や各部会等のチラシや広報物の発行、ホームページの更新を随時行う。 ②10月下旬に予定されている「いがまち展覧会」用に、事業活動を紹介するポスター等を作成し、展示を行う。	117,000
2	研修活動	①他地域からの視察研修を受け入れたり、他地域等へ視察を行う。 ②市等が開催するまちづくりのための研修会に参加し見識を深める。 ③住民(女性、若者、移住者等)向けのまちづくり研修を行なう。	10,000
3	事務局運営経費	①報酬などの人件費などを適正に支出しつつ、包括交付金の段階的減額などをふまえて支出の在り方を検討する。 ②機械(印刷機、ネット等)維持費、事務消耗費等購入費や光熱費など適正に会計処理する。	2,910,000
4	その他必要な事業経費	①いがまち3地域の連携を深めるため各種組織の会議や催し(自治推進会議、区長集会、いがまち4大祭り、いがまち展覧会&バザー、いがまち同和教育研究大会、いがまち青少年を育てる会、社会を明るくする運動、社会福祉協議会、消防団、いがまち公民館あけぼの学園高校、名神名阪連絡道推進会議等)に参加する。 ②市の最適化計画や支所の在り方について対応する。 ③旧柘植保育園跡地に関わって、使用許可中の「ステーション都美恵」「杜のカフェいこいこ」と連携し、必要な事務処理を行う。また、関係者会議を7月に行う。 ④新年門松絵札短冊を各戸へ配布する。 ⑤余野公園保勝会、芭蕉翁顕彰会、いがまち同和教育研究協議会等への協力(会費等)を行う。 ⑥斎王群行等、以前にまち協が取り組んだことで十分な対応が現在できていない内容についての支援を行う。 ⑦検討が必要な事案が発生次第、運営委員の了承の下、役員会が中心になって臨機応変に対応する。	61,000

(12区連絡協議会活動) 柘植地域各区に関わる事業

規約13条に基づき、伊賀市及び三重県行政、伊賀警察署等との「タテの連携」、12区間の「ヨコの連携交流」を充実させるため、毎月定期的に12区連絡協議会を開催する。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	12区連絡協議会活動	防犯協会等と連携した公安活動 防犯協会・交通安全協会や伊賀警察署、伊賀支所等と連携し、地域内パトロールをはじめ、春・夏・秋・年末等の交通安全啓発を行う。	10,000

2	各区活動 (地区業務・地区配布業務)	各種委員等の推薦報告、住民への広報等の配布他の業務。毎月1回、「まちづくり基本協定書」に基づき、市からの広報等の各戸配付や回覧を行う。また、まちづくり協議会や関連団体からの書類配布を行う。	1,450,000
3	区掲示板設置(修繕)補助	各区が管理する掲示板について、新設あるいは補修修繕に対して補助をする。	120,000

(防災委員会活動) 防災委員会における事業

各区の防災組織、消防団、市行政、指定避難所等との緊密な連携の下で、災害への対応を行うため、計画的に年間を通じて、防災委員会を開催する。今年度のうちに、組織・規則を確立する。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	自主防災力向上事業 防災訓練・防災研修	柘植地域が一体となった防災・減災の取り組みを進める。 ①10月4日(日)に合同防災訓練を実施する。 ②いざというときに備えた防災組織をすみやかに確立させる。 ③自主防災基幹要員のスキルアップを行う。 <input type="checkbox"/> 各区の防災委員とも緊密に情報共有を図りながら、初動リーダーが主となって指定避難所の開設運営を行う。 <input type="checkbox"/> 自主防災基幹要員や防災ボランティア等を対象に、他地域の視察研修を行う。 ④学校教育等と連携した防災啓発活動を行う。 ⑤発災初動期に必要な最小限の防災資材や人命を守るための機材の充実を継続的に進める。	140,000
2	防災井戸の検討・充実	生活環境部会や12区連絡協議会と連携して、災害時に飲料水の確保は最優先課題の一つであるので、まち協指定の防災井戸23か所の在り方(水質検査等)を再検討し充実を図る。	

『まちづくり計画』に基づく分野別具体事業

人権・同和分野

(委員会) 人権啓発推進委員会における事業

各区ならびに柘植地域全体の人権啓発を進めていくため、支所の協力の下、各区の人権啓発推進委員(支所報告)の代表と区長が、2年周期で計画的に合同で啓発活動を進めるために人権啓発推進委員会を開催する。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	人権啓発合同事業 ①合同フィールドワーク ②人権啓発映画一斉上映会ほか	①合同フィールドワーク(近隣・遠方)の企画と実施を行う。今年度、近隣は中止、遠方については日時内容等未定 ②人権啓発映画一斉上映会を実施する。今年度は各区の実状に応じて実施する。 ※各区地区懇委託金より負担金1万円を集め実施します。	150,000
2	人権同和問題地区別懇談会	支所主催の説明会研修会等に参加し、各区において啓発プログラムを計画・実行・評価する。	

(部会) 人権・同和部会における事業

規約15条に基づき、部会が所管に関わる事項（『まちづくり計画』の内容や事業内容等）を審議および実践・評価をするため、関係団体（いがまち人権センター、伊賀支所振興課等）と連携して部会を開催し12区間の交流を図る。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	柘植地域及びいがまち人権学習・懇談・交流	①地域内の保育園、小学校、中学校との懇談・交流を行う。 ②いがまち同和教育研究会及び西柘植・壬生野のまちづくり協議会の人権関係部会等との懇談・交流を行う。	80,000
2	柘植住民及び部会員への広報・研修・啓発	①地域のニーズや声に応じて、広報誌『さあみんなで考えよう』を毎月発行し全戸に配付する。 ②「柘植地域市民人権意識調査」から必要な取り組みを考え、実行につなげる。 ③柘植地域の実情に応じた、部会としての研修（フィールドワーク・講演等）を実施する。	

健康・福祉分野

(委員会) 柘植地域福祉ネットワーク会議に関わる事業

社会福祉協議会の支援を受け、各区から選出された委員が集まり、各区ならびに柘植地域全体の福祉に関する問題を交流し、柘植地域挙げて課題解決を図るために連携して活動を行う。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	柘植地域福祉ネットワーク会議「つげふくしネット」	①地域会議（区単位）未設置区への支援 社会福祉コーディネーター等の支援を受け、働きかけを行う。 ②関係団体等と合同の研修会（福祉交流会）を開催する。 ③社会福祉協議会等と連携し、福祉の拠点づくり（NPO法人と協働）への支援 ※社会福祉協議会から10万円の補助を含む	120,000

(委員会) スポーツ推進委員会に関わる事業

年間2回程度、各区の体育担当者が参加する会議を行い、市の事業の理解や11月予定の伊賀市スポーツフェスティバル参加者の選出を行う。また12区間でスポーツ分野の連携交流を図る。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	地域スポーツ活動の推進 ①地域スポーツ大会 ②トレイルランニング大会支援	①10月に開催予定の地域スポーツ大会の企画、準備、運営を行い、地域住民の健康増進と住民間の交流を図る。 ②エイドステーションの運営やコース誘導などのボランティア活動を行う。	25,000

(委員会) 公共交通のあり方検討委員会に関わる事業

12区連絡協議会、健康福祉部会、産業交流部会等との連携し、公共交通における地域の実態を整理するなどし、将来の公共交通のあり方について検討を深める。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	公共交通のあり方検討委員会	伊賀市公共交通再生協議会と連携して、鉄道・バス等の公共交通のあり方について検討を行う。	3,000

(部会) 健康・福祉部会における事業

規約15条に基づき、部会が所管に関わる事項（『まちづくり計画』の内容や事業内容等）を審議および実践・評価をするため、関係団体（社会福祉協議会等）と連携して部会を開催し12区間の交流を図る。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	健康づくり推進	①地場産品使用の料理やシカ肉・イノシシ肉を使ったジビエ料理をテーマにした健康料理教室を実施する。 ②市内病院の医師等に依頼して健康講演会を開催する。 ③教育文化部会や産業交流部会と協力して健康ウォーキングを開催する。 ④夏休みのラジオ体操を奨励するなど、健康増進につながる健康教室を開催する。	80,000
2	ユニバーサルデザインのまちづくり	交通弱者に対する移動支援体制づくりの解決に向けて、現状を把握し先進事例に学びながら、関係者と連携を強める。	15,000

生活・環境分野

(部会) 生活・環境部会における事業

規約15条に基づき、部会が所管に関わる事項（『まちづくり計画』の内容や事業内容等）を審議および実践・評価をするため、関係団体（伊賀支所住民福祉課等）と連携して部会を開催し12区間の交流を図る。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	家庭系ごみの適正処理に係る啓発	市の調査にも示されている生活系ごみの適正処理を進めるため、「ゴミカレンダー」を全戸配布し、合わせてゴミ減量化にもつながるよう、チラシの回覧などを通じて啓発を行う。	21,000
2	安全安心の公安活動と環境保全	①伊賀警察署ならびに12区連絡協議会と連携し、交通安全の喚起、不法投棄の未然防止を図るため月1回の地域内パトロールを行う。 ②交通安全対策として注意標識の設置や視認性の低下したカーブミラーの美化や除草作業、不法投棄警告看板設置等を行う。 ③消費者被害を防ぐための研修会を開催したり、防犯協会からの啓発チラシを回覧するなどして、犯罪の未然防止を行う。 ④犬の散歩時の糞尿処理や飼い主のいない猫へのエサやり防止に関する啓発チラシ等を発行する。	74,000
3	水資源に関する調査研究	①昨年度の視察研修をふまえ、現状を整理し、さまざまな視点から水利用について検討を行う。 ②下水処理システム及び放流水の水質等について研修を行うため、柘植浄化センターの見学会を計画する。 ③防災委員会等と連携し防災井戸についての理解を深め、災害発生時の水に関する課題について検討を進める。	5,000

教育・文化分野

(部会) 教育・文化部会における事業

規約15条に基づき、部会が所管に関わる事項（『まちづくり計画』の内容や事業内容等）を審議および実践・評価をするため、関係団体（いがまち公民館、生涯学習課等）と連携して部会を開催し12区間の交流を図る。

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	各種の講演会	①地域文化を顕彰するため、柘植地域に関連する歴史や文化について講演会を開催する。 ②柘植地域の伝統行事の継承のため、各地区行事をまとめる。	20,000
2	コンサート等の開催	①ふれあいコンサートの開催 音楽等のイベントを通じた芸術活動を行う。 ②クリスマスコンサートの開催 地域で活動している方々の協力を得て、誰もが参加できるクリスマスの楽しいひと時を企画する。 ③映画鑑賞会の開催 リクエストに応じた出前も含め、映画会を開催する。	35,000
3	夏休み等こどもの遊び	第7回「つげっこ夏まつり」を8月10日に開催する。 内容：子どもたちと柘植川で水遊びを中心に行うことで、世代間交流、昔遊びの伝承、夏の思い出づくりを行う。	45,000

産業・交流分野

(部会) 産業・交流部会における事業

規約15条に基づき、部会が所管に関わる事項（『まちづくり計画』の内容や事業内容等）を審議および実践・評価をするため、関係団体（農林振興課等）と連携して部会を開催し12区間の交流を図る。

※7月10日、10月9日、1月15日を予定

	事業名	実施内容等	予算(円)
1	各種の研修会	①観光…近隣の歴史史料館等の視察研修を行う。また、柘植地域内の観光ガイド養成や観光ルートの開発を行う。 ②森林林業…農林振興課の支援を受け、阿波地域・布引地域等と交流しながら林業関連の研修を行う。（チェーンソー安全講習会や先進地視察等） ③農業…各区営農組織への聞き取りを行うなどして状況把握に努めながら、柘植地域全般の農業問題について、JAや農林振興課、農業委員会等と協力して懇談会等を開催する。 ④商工業…柘植地域で営業展開している業者さんとの連携を深め、懇談会を開催する。	55,000
2	有害鳥獣対策	伊賀市の鳥獣害対策協議会ならびに農林振興課・県行政等と連携し、柘植地域の鳥獣害の現状について学ぶ研修会を開催するとともに被害対策を講じる。また、狩猟免許保有者を増やす取り組みを進める。 ※伊賀市鳥獣害対策協議会補助金を含む。	240,000
3	柘植駅・駅周辺の観光面充実	柘植地域の交通拠点として、住民や利用者が心地よい環境づくりの手助けをし、柘植駅・駅周辺の活性化をめざす。草津線地域サポーター支援事業（15万円、8/10補助金）を活用して柘植駅や柘植駅前の美化活動や活性化につながる活動を行う。 ①JR亀山鉄道部や柘植駅を守る会と協力し、年3回の構内清掃等を行う。 ②駅前イルミネーション、花壇管理を行う。 ③跨線橋のホントかるたパネルの作成を行う。 ④鉄道に関心のある方を対象に各種視察や研修を行う。また健康福祉部会や教育文化部会と協力して駅を含めた観光フィールドワークを実施する。	210,000

令和2年(2020)度 柘植地域まちづくり協議会予算(案)

1. 収入の部

(単位: 円)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増 減	備 考
繰 越 金	607,855	586,327	△ 21,528	
地域包括交付金	5,618,000	5,174,000	△ 444,000	伊賀市より
補 助 金	770,000	450,000	△ 320,000	
きらっと輝け!地域応援補助金	500,000	0	△ 500,000	伊賀市より
JR草津線地域サポーター支援事業補助金	150,000	150,000	0	草津線複線化促進期成同盟会より
鳥獣害に負けない地域づくり推進事業補助金	0	200,000	200,000	伊賀市より
緑の募金事業助成金	20,000	0	△ 20,000	
福祉でまちづくり支援事業助成金	100,000	100,000	0	社会福祉協議会より
地区分担金	533,500	516,000	△ 17,500	12区より(500円×1032世帯)
負 担 金	0	120,000	120,000	人権啓発合同事業(10,000円×12区)
手 数 料	0	57,000	57,000	選挙公報配布手数料(市長・市議会議員)
雑 入	120,645	180,673	60,028	印刷代、「柘植のホントかるた」売上 預金利息
計	7,650,000	7,084,000	△ 566,000	

2. 支出の部

(単位: 円)

事 業 名	前年度予算額	本年度予算額	増 減	備 考
まちづくり協議会の運営にかかわる事業	3,662,000	3,098,000	△ 564,000	
情報発信活動	161,000	117,000	△ 44,000	まちづくりだより、各種チラシ、ホームページ更新
研修活動	20,000	10,000	△ 10,000	
事務局運営経費	3,467,000	2,910,000	△ 557,000	報酬、需用費、備品購入
その他必要な事業経費	14,000	61,000	47,000	各種会費、絆づくり補助事業負担金他
柘植地域各区に関わる事業	1,422,000	1,580,000	158,000	
12区連絡協議会活動	10,000	10,000	0	防犯協会等と連携した公安活動
各区活動(地区業務、地区配布業務)	1,412,000	1,450,000	38,000	広報いが、まちづくりだより、選挙公報配布他
区掲示板設置(修繕)補助	0	120,000	120,000	4区×30,000円(修繕)
防災委員会活動	120,000	140,000	20,000	
自主防災力向上事業	120,000	140,000	20,000	合同訓練、啓発活動、救命訓練、井戸調査
人権同和分野	90,000	230,000	140,000	
(委員会)人権啓発合同事業	10,000	150,000	140,000	合同フィールドワーク等 (※各区負担金12万円含む)
柘植地域及びいがまち人権学習・懇談・交流	0	0	0	いがまち同研、3地域部会と懇談・交流
住民及び部会員への広報・研修・啓発	80,000	80,000	0	人権広報誌発行、講演会

健康福祉分野	253,000	243,000	△ 10,000	
(委員会) 拓植地域福祉ネットワーク会議活動	120,000	120,000	0	地域会議設置支援、研修会、拠点づくり支援
(委員会) 地域スポーツ活動の推進	25,000	25,000	0	スポーツ大会、トレイルランニング大会
(委員会) 公共交通のあり方検討委員会活動	3,000	3,000	0	
健康づくり推進	85,000	80,000	△ 5,000	料理教室、講演会、ウォーキング、健康教室
ユニバーサルデザインのまちづくり	20,000	15,000	△ 5,000	先進地事例等研修
生活環境分野	80,000	100,000	20,000	
家庭系ごみの適正処理に係る啓発	30,000	21,000	△ 9,000	ゴミカレンダー全戸配布他
安全安心の公安活動と環境保全	50,000	74,000	24,000	通行危険箇所の除草、注意立て看板設置、不法投棄処理等
水資源に関する調査研究	0	5,000	5,000	朝古川浄水場、拓植浄化センター見学
教育文化分野	100,000	100,000	0	
各種の講演会	15,000	20,000	5,000	文化講演会
コンサート等の開催	70,000	35,000	△ 35,000	ふれあいコンサート、クリスマスコンサート、映画鑑賞会
夏休み等子ども遊び	15,000	45,000	30,000	つげっこ夏まつり
産業交流分野	780,000	505,000	△ 275,000	
各種の研修会	30,000	55,000	25,000	研修会(観光、森林、農業、商工関係)
有害鳥獣対策	20,000	240,000	220,000	研修会、地域内の獣害支援
拓植駅・駅周辺の観光面充実	230,000	210,000	△ 20,000	駅構内清掃、イルミネーション点灯、学習イベント
拓植駅130周年記念事業	500,000	0	△ 500,000	
予 備 費	643,000	588,000	△ 55,000	
基金積み立て	500,000	500,000	0	
計	7,650,000	7,084,000	△ 566,000	

※予算額に対して過不足が生じた場合、予算の範囲内において、運営委員会の承認を得て流用することが出来る。

令和2(2020)年度年間会議行事等計画(上半期1)

	4月	5月	6月
1	水 広報等配付 センター長会議	金 広報等配付	月 広報等配付 センター長会議
2	木	土	火
3	金	日	水
4	土	月	木
5	日	火 春祭	金
6	月 役員会	水	土
7	火 健康福祉部会	木	日
8	水	金	月
9	木	土 事業連携交流会議	火
10	金 12区連絡協議会	日	水
11	土	月	木 12区連絡協議会
12	日 粟山様まつり	火	金
13	月	水 ①自治推進会議	土
14	火	木 12区連絡協議会	日
15	水	金	月
16	木	土 運営委員会②	火
17	金 運営委員会①	日	水
18	土	月	木
19	日	火	金
20	月	水	土
21	火	木	日
22	水	金 いがまち同郷総会	月
23	木	土	火
24	金	日	水
25	土	月	木
26	日	火	金 いがまち区長集会
27	月	水	土
28	火	木	日 いがまち環境美化の日
29	水 昭	金	月
30	火	土 定期総会	火
31		日	

令和2(2020)年度年間会議行事等計画(上半期2)

	7月	8月	9月
1	水 広報等配付	土	火 広報等配付
2	木	日	水 山出
3	金 人権同和部会	月 センター長会議	木 中倉 拓郎
4	土	火	金 岡小 鼻林
5	日	水	土 両野 町村
6	月	木	日 上村
7	火	金 12区連絡協議 会	月
8	水 ②自治推進会議	土	火
9	木 12区連絡協議会	日	水
10	金 産業交流部会	月 山	木 小杉
11	土	火	金 12区連絡協議会
12	日	水	土
13	月	木	日
14	火	金	月 敬
15	水	土	火
16	木	日	水
17	金	月	木
18	土	火	金
19	日	水	土
20	月	木	日
21	火	金	月 敬 火 敬 秋分
22	水	土	日 敬 火 敬 秋分
23	木 海	日	火
24	金 スボ 土	月	木
25	土	火	金
26	日	水 ③自治推進会議	土
27	月	木	日
28	火	金	月
29	水	土	火
30	木	日	水
31	金 広報等配付	月	

30

変更や追加等、あると思われますが、参考にしてください。

令和2(2020)年度年間会議行事等計画(下半期1)

	10月	11月	12月
1	木 広報等配付 センター長会議	日 トレイルランニング大会	火 広報等配付 センター長会議
2	金	月	水
3	土	火 紅葉まつり 文化 水	木
4	日 合同防災訓練 スポーツ大会		金
5	月	木	土
6	火	金	日
7	水	土	月
8	木 12区連絡協議会	日 市長選挙	火
9	金 産業交流部会	月	水
10	土	火	木
11	日	水 ④自治推進会議	金 12区連絡協議会
12	月	木 しぐれ忌	土
13	火	金 12区連絡協議会	日
14	水	土	月
15	木	日	火
16	金 運営委員会	月	水
17	土	火	木
18	日	水	金 運営委員忘年会
19	月	木	土
20	火	金	日
21	水	土	月
22	木	日	火
23	金	月 月動ろい農業まつり	水
24	土 いがまち展覧会	火	木
25	日 いがまち展覧会	水	金
26	月	木	土
27	火	金	日
28	水	土	月 広報等配付
29	木	日	火
30	金 広報等配付	月	水
31	土		木

令和2(2020)年度年間会議行事等計画(下半期2)

	1月	2月	3月
1	金	月 広報等配付 センター長会議	月 広報等配付 センター長会議
2	土	火	火
3	日	水	水
4	月	木	木
5	火	金 專業連携交流会議	金
6	水 ⑤自治推進会議	土	土
7	木	日	日
8	金	月	月
9	土	火	火
10	日	水	水
11	月	木 建 園 金 12区連絡協議 会	木 文化祭 解散
12	火	金 12区連絡協議 会	金
13	水	土	土 区長引継会研修会
14	木 12区連絡協議会	日	日
15	金 産業交流部会	月	月
16	土	火	火
17	日	水	水
18	月	木	木
19	火	金	金 運営委員会
20	水	土	土 春分日
21	木	日	日
22	金	月	月
23	土	火 天皇 水 ⑥自治推進会議	火
24	日		水
25	月	木	木
26	火	金	金
27	水	土	土
28	木	日	日 市議会議員選挙
29	金		月
30	土		火
31	日		水

変更や追加等、あると思われませんが、参考にしてください。

【令和2(2020)年度 部会別総会構成員名簿】 規約第10条

2020.5.13現在

【人権同和部会(28名)】

1	橋本浩信	岡鼻	公募
2	山本祥史	岡鼻	推薦
3	武内秀道	小林	推薦
4	久保紀幸	小林	推薦
5	堀井信雄	拓植青葉台	推薦
6	松村行正	拓植青葉台	推薦
7	四辻利則	上町	推薦
8	唐川達之進	上町	推薦
9	平野公三	上町	推薦
10	岡島栄一	下町	推薦
11	土屋正孝	下町	推薦
12	岡森邦彦	下町	推薦
13	浜田泰昭	倉部	推薦
14	菊地邦夫	倉部	推薦
15	松山宗達	小杉	推薦
16	澤井清敏	小杉	推薦
17	服部智秀	小杉	推薦
18	内田明良	山出	推薦
19	内田真也	山出	推薦
20	中村尚生	前川	推薦
21	坂井 悟	前川	区長
22	植田雄二	前川	推薦
23	宮田隆司	上村	推薦
24	前田明伸	野村	推薦
25	杉本廣行	野村	区長
26	中村隆美	中柘植	推薦
27	宮田素行	中柘植	推薦
28	片岡利文	中柘植	推薦

【健康福祉部会(24名)】

1	中川和史	岡鼻	推薦
2	溝口康子	小林	推薦
3	中原聖文	小林	推薦
4	森下泰成	小林	区長
5	奥山栄三	拓植青葉台	推薦
6	世古 浩	上町	推薦
7	大道竜也	上町	推薦
8	倉下克己	上町	推薦
9	橋本俊和	下町	推薦
10	岡村公恵	下町	推薦
11	余野忠徳	倉部	推薦
12	岡島秀夫	倉部	推薦
13	増岡茂樹	小杉	推薦
14	松本誠太	小杉	推薦
15	服部孝司	小杉	推薦
16	坂口武利	小杉	推薦
17	松浦重雄	山出	推薦
18	山川英子	山出	推薦
19	三根久美子	前川	推薦
20	廣田正義	上村	推薦
21	稲森真理子	野村	推薦
22	安田厚子	野村	推薦
23	杉森 智	中柘植	推薦
24	中川善博	中柘植	推薦

【生活環境部会(30名)】

1	木澤克司	岡鼻	推薦
2	濱田不二子	岡鼻	公募
3	岡島茂男	岡鼻	区長
4	田辺 肇	小林	推薦
5	伊室正一	小林	推薦
6	細野 茂	小林	推薦
7	川瀬保広	拓植青葉台	推薦
8	川島輝義	拓植青葉台	公募
9	吉岡敏明	上町	推薦
10	岡田 進	上町	区長
11	岡森栄作	上町	推薦
12	徳永龍雄	上町	公募
13	徳永紀江	上町	公募
14	今堀康則	下町	推薦
15	西野昌則	下町	推薦
16	杉本克也	倉部	推薦
17	清水 毅	倉部	推薦
18	堀川康幸	小杉	区長
19	瀧本裕也	小杉	推薦
20	岡嶋和秀	小杉	推薦
21	西田方計	小杉	公募
22	山川直人	山出	推薦
23	藤井 登	山出	推薦
24	内田泰成	山出	公募
25	坂井英明	前川	推薦
26	中島茂雄	上村	推薦
27	鳥喰教義	野村	推薦
28	藪本 収	野村	推薦
29	藤岡憲昭	中柘植	推薦
30	鈴木克寛	中柘植	推薦

【教育文化部会(24名)】

1	橋本佳典	岡鼻	推薦
2	坪 健治	岡鼻	公募
3	辻上浩司	小林	推薦
4	竹中隆広	小林	推薦
5	川島輝義	拓植青葉台	区長代理
6	片岡和人	上町	推薦
7	澤井克彦	上町	推薦
8	北橋幸太郎	下町	推薦
9	山本哲也	下町	推薦
10	岡山博文	倉部	推薦
11	河野敬高	倉部	推薦
12	松山文雄	小杉	推薦
13	西尾正伸	小杉	推薦
14	服部智秀	小杉	推薦
15	内田充紀	山出	推薦
16	前嶋卓弥	山出	区長
17	松村智広	前川	推薦
18	勝見育一	上村	推薦
19	山岡寛司	上村	推薦
20	勝見博和	上村	区長
21	西井正和	野村	推薦
22	梅田吉彦	野村	推薦
23	前田康人	中柘植	推薦
24	宮田正博	中柘植	推薦

【産業交流部会(27名)】

1	橋本欣三	岡鼻	推薦
2	栗本 優	小林	推薦
3	大林忠夫	小林	推薦
4	田中重之	小林	公募
5	竹本憲一	拓植青葉台	推薦
6	平野 努	上町	推薦
7	丸山隆志	上町	推薦
8	細野正仁	下町	推薦
9	服部 勉	下町	区長
10	辻本 健	下町	推薦
11	岡山雅幸	倉部	推薦
12	杉岡 昇	倉部	推薦
13	清水雅己	倉部	区長
14	川口裕司	倉部	公募
15	澤井成之	小杉	推薦
16	稲森猛祥	小杉	推薦
17	嶋藤 浩	小杉	推薦
18	松山宏己	小杉	公募
19	西田方計	小杉	公募
20	中島義文	山出	推薦
21	松尾正明	山出	推薦
22	中村清隆	前川	推薦
23	山岡尚樹	上村	推薦
24	宮田孝治	野村	推薦
25	佐治正幸	中柘植	推薦
26	中村康弘	中柘植	推薦
27	西尾光史	中柘植	区長

柘植地域まちづくり協議会のあゆみ（略史）

（文中、敬称略）

平成15年 (2003)	10月20日 当時の区長12名でまちづくり協議会設立の為の世話人会発足 11月13日 まちづくり計画策定委員募集（～12/10）区長推薦・公募により69名で始まる。
平成16年 (2004)	2月16日 柘植地域まちづくり協議会設立総会（於：柘植公民館） 3月31日 『柘植地域まちづくりだより』第1号発行 5月20日 平成16年度総会開催 5月21日 計画策定のための住民アンケート実施（～6月15日） 9月30日 「まちづくり計画（中間案）」各戸配布、パブリックコメント募集 10月7日 タウンミーティング開催（於：柘植小体育館） 10月29日 『まちづくり計画』策定 伊賀町長に提出 11月1日 伊賀市が発足 11月27日 協議会設立及び伊賀市誕生記念植樹（奥余野森林公園へもみじ・桜など） 11月 「伊賀市自治基本条例」が公布される
平成17年 (2005)	1月11日 『まちづくり計画』（概要版）各戸配布、柘植公民館2Fに事務局を開局する。 2月1日 教育ボランティア募集始める 柘植小で認証式(2/19) 3月30日 臨時総会開催 規約改正を行う 「自治基本条例」に則った住民自治組織として正式に認可 5月10日 臨時総会（初代会長に岡島久司） 6月11日 定期総会（交付金253万円、予算規模274万円） 10月20日 いがまち3地域で先進地視察（岐阜県山岡町）
平成18年 (2006)	3月9日 「伊賀市総合計画」について住民学習会開催 4月15日 定期総会（交付金252万円、予算規模290万円） 5月28日 第19回余野公園つつし祭 行政主導から住民主導に移行 6月30日 「健康ウォーキングマップ集」完成 各区・各組へ配付
平成19年 (2007)	1月25日 「災害時要援護者支援ネットワークづくり」研修会開催 3月2日 臨時総会（規約改正） 3月 観光絵地図「柘植の道しるべ」完成 各戸配布 地域活動支援事業（柘植地域案内板設置事業） 4月21日 臨時総会（会長に岡島正尚） 6月16日 定期総会（地域交付金151万円、予算規模205万円） 9月13日 『まちづくりだより』第50号発行
平成20年 (2008)	1月30日 柘植駅前総案内板「油日岳・霊山ハイキングマップ」設置 3月22日 柘植駅から旗山を経てソロソロ峠までの登山道案内標識設置完了 地域活動支援事業（「伊賀の国・柘植の斎王群行」事業） 4月26日 定期総会（地域交付金145万円、予算規模221万円） 9月7日 新しい葱華華（斎王群行）が完成 試運転 9月28日 第6回斎王群行 総勢53人 装いも新たに盛大に開催 11月19日 20年度「みえの防災大賞」受賞 11月29日 3地域合同で「いがの防災風土づくり研修会」開催（ふるさと会館にて）
平成21年 (2009)	4月24日 臨時総会（会長に岡本武和） 5月30日 定期総会（地域交付金143万円、予算規模207万円） 6月29日 鳥獣害対策についての研修会開催 8月27日 柘植地区市民センター建設起工式挙行 11月4日 「あしたのまち・くらしづくり活動賞」全国表彰
平成22年 (2010)	3月25日 地区市民センター竣工式挙行 3月28日 まちづくり協議会の事務局を市民センターに移設 4月1日 地区市民センター業務開始 地域活動支援事業（自主防災組織並びに避難所運営組織・マニュアル策定事業） 4月24日 定期総会（交付金147万円、予算規模174万円） 5月 伊賀市における自治組織のあり方検討委員会 市長に報告書提出 8月 まちづくり計画改定のための住民アンケート実施 8月5日 市民センターにピアノの寄贈 10月15日 計画策定のための住民アンケート集計結果報告 11月7日 「市民センターオープニングコンサート」（兼「ピアノ開き」）開催 12月23日 第1回「地域で新成人を祝う会」開催
平成23年 (2011)	1月26日 「防災まちづくり大賞」全国表彰受賞 3月26日 臨時総会にて「まちづくり計画（見直し案）」承認 特別部会「区長部会」・「女性部会」設置 3月31日 東日本大震災被害地支援義援金100万円を超える 5月 「大規模災害時避難所初動マニュアル」及び各戸配布の「防災（減災）ハンドブック〔保存版〕」完成 5月23日 臨時総会（会長に溝水一利） 5月28日 定期総会（包括交付金620万円、予算規模673万円） 7月 女性部会活動開始 10月14日 『まちづくりだより』第100号発行 12月 『まちづくりだより縮刷版』発行 12月7日 行政地区懇談会（市政報告会）

平成24年 (2012)	2月12日 まちづくり研修会 4月 まちづくり協議会ホームページ運用開始 4月21日 定期総会（包括交付金620万円、予算規模680万円） 7月 「伊賀市自治基本条例」改正 8月19日 第3回地域で新成人を祝う会（次年度以降は中止） 9月30日 斎王群行台風で延期 10月7日 防災訓練
平成25年 (2013)	2/25～3/3 第1回竹から生まれたおひなさま展開催（女性部会） 4月27日 臨時総会（会長に清水一利） 5月25日 定期総会（包括交付金620万円、予算規模696万円） 8月31日 芭蕉翁生誕370年記念事業 10月6日 合同防災訓練 11月8・9日 第32回地域づくり団体全国研修交流会三重大会発表
平成26年 (2014)	4月19日 定期総会（包括交付金596万円、予算規模677万円） 8月18日 第1回つげっこ夏まつり 10月5日 合同防災訓練（台風のため中止）
平成27年 (2015)	1月17日 まちづくり研修会 3月31日 伊賀市「伊賀地区振興計画」策定 4月25日 臨時総会（「代表」に阪井則行） 5月23日 定期総会（包括交付金595万円、予算規模672万円） 7月13日 第1回いがまち3地域区長集会 7/4～7/5 第14回コミュニティ政策学会伊賀大会にて実践報告の発表（@ハイトピア） 7月30日 市長と語る会 8月7日 まちづくりふれあいデー（宝くじコミュニティ助成事業関連） 8月22日 いがまち同研発足50周年記念大会参加 9月1日 『まちづくりだより』第150号発行 10月14日 議会報告会 11月21日 柘植駅前初めのイルミネーション設置
平成28年 (2016)	1月18日 伊賀市合同研修会に参加（東近江市へ） 3月27日 柘植保育園開園式 4月1日～ 地域活動支援事業基礎支援コミュニティづくり（特産品創出）始まる 草津線地域サポーター支援事業始まる 4月16日 定期総会（包括交付金613万円、予算規模671万円） 6月17日 第2回いがまち3地域区長集会 6月22日 「つげ福祉ネットワーク会議」設立総会 8月7日 第2回まちづくりふれあいデー 10月2日 合同防災訓練 10月27日 議会報告会 10月2日 合同防災訓練 11月4日 トレイルランニング大会（ブレ大会）協力
平成29年 (2017)	2月2日 伊賀市合同研修会にて発表（テーマ「女性参画」） 2月25日 草津線SHINOBI-TRAIN歓迎式（柘植駅） 3月23日 柘植駅構内男女別トイレ供用開始に 4月19日 臨時総会（「代表」に半田三都生） 5月27日 定期総会（包括交付金613万円、予算規模704万円） 6月13日 女性部会視察研修（木津川市） 6月16日 第3回いがまち3地域区長集会 7月28日 地域福祉交通研修会 8月6日 交通問題シンポジウム開催 8月8日 窓口業務変更によるマイナンバーカード申請手続き講習会 8月26日 ガラス飛散防止フィルム貼り付け要領講習会 9月9日 阿波・布引地域との連携してバイオマス研修会 9月30日 おもてなし環境整備（横地野、深谷池等） 9月30日 斎王群行イベント（市文化会館） 10月9日 第15回柘植の斎王群行（以後、休止） 10月19日 議会報告会 10月26日 阿波・布引地域と連携して、吉野方面へ林業視察研修 10月31日 旧柘植保育園賃借契約式・使用許可書授与式 11月1日 『まちづくりだより』第200号発行 11月1日 当面の市政課題にかかる市民懇談会（いがまち公民館） 11月4日 第1回トレイルランニング大会協力 11月5日 合同防災訓練（兼伊賀市防災訓練） 11月15日 小規模多機能自治全国研修会にて発表「女性参画」（名張市） 11月30日 ふるさと会館いがまち複合化計画案について運営委員会への行政説明会
平成30年 (2018)	1月9日 関西線（柘植・亀山間）復旧再開セレモニー（柘植駅） 1月9日 地域防災セミナー（県庁舎） 1月27日 県事業みえのみらいづくり塾次世代ワークショップ開催 3月11日 いがまち消防団に新部旗寄贈・披露式

- 3月15日 伊賀支所周辺最適化計画住民説明会懇談会
 - 3月17日 草津線ICOCA利用拡大歓迎セレモニー(柘植駅)
 - 4月14日 定期総会(包括交付金611万円、予算規模730万円)
 - 4月22日 コンビニ開業計画に関する地元説明会(於:野村区集落センター)
 - 5月27日 伊賀市議会タウンミーティングに参加
 - 6月12日 松阪市飯高町波瀬村づくり協議会へ視察研修
 - 6月25日 壬申の乱「積植の山口」看板設置除幕式
 - 6月17日 愛知県大府市北山コミュニティ推進協議会視察受入
 - 6月22日 3地域いがまち合同区長集會
 - 6月26日 柘植のみらいづくり塾(午後と夜;山出区実践報告)
 - 6月30日 伊賀市自治研修会「住民自治のしくみ(岩崎恭典さん)」参加
 - 8月8日 石川県七尾市徳田地区まちづくり協議会視察受入
 - 8月21日 健康福祉部会・つげ福祉社合同視察研修(大野木長寿村)
 - 8月24日 いがまち地域公共交通活性化再生協議会参加
 - 9月22日 柘植地域移住者との交流会
 - 9月26日 伊賀流自治の研修会(「課題の見える化」)に参加
 - 10月7日 合同防災訓練
 - 10月7日 柘植地域スポーツ大会(カローリング他、柘植中体育館)
 - 10月18日 運営委員会にて、「役員選考委員会規則」施行
 - 10月20日 女性対象柘植のみらいづくり塾
 - 11月11日 消防団員対象柘植のみらいづくり塾
 - 11月13日 伊勢市神社地区まちづくり協議会視察受入
 - 11月17日 滋賀県近江八幡市八幡学区まちづくり協議会視察受入
 - 12月1日 山田地域住民自治協議会視察受入
- 年末～年始 住民意識調査実施

平成31年
(2019)

- 1月25日 静岡県富士市視察受入
- 1月27日 大分県宇佐市まちづくり研修会へ講師として参加
- 2月7日 伊賀市行政説明会「当面のまちづくり」参加
- 2月19日 柘植駅開業130周年キックオフセレモニー
- 3月15日 柘植地域住民人権意識調査ダイジェスト版各戸配付
- 3月15日 防災マニュアル改訂(家庭版各戸配付)
- 3月16日 新旧区長引き継ぎ会
- 4月1日 スマイルキッズ移転セレモニー
- 4月27日 臨時総会(会長に城出憲一)

令和元年
(2019)

- 5月12日 第32回つつじ祭り
- 5月25日 定期総会(包括交付金561.8万円、予算規模765万円)
- 6月21日 いがまち3地域区長集會
- 6月29日 島ヶ原地域まちづくり協議会への視察研修
- 8月17日 いがまち同研にて人権啓発合同事業実行委員会発表
- 9月30日 災害NGO結(前原土武さん)活動報告会
- 10月6日 防災訓練(各区単位)
- 10月6日 第2回柘植地域スポーツ大会(キンボール、柘植小体育館)
- 10月11日 水資源に関する視察研修(朝古川浄水場)
- 10月19日 柘植駅開業130周年記念シンポジウム(記念かるた完成)
- 10月20日 部会横断による健康ウォーキング大会
- 10月26日 いがまち展覧会(斎王パフォーマンス実施)
- 10月26日 第2回移住者の集い
- 11月5日 阿波、布引と合同林業研修3年目
- 11月3日 第3回忍者トレイルランニング大会
- 11月24日 第2回消防団員ワークショップ
- 11月9日 「柘植」の語源の謎に迫る文化講演会
- 11月8日 柘植地域農業に関する懇談会
- 11月29日 西脇市日延地区区長会視察受入
- 12月8日 シビエ健康料理教室
- 12月21日 柘植駅構内等美化活動

令和2年
(2020)

- 1月1日 『まちづくりだより』第250号発行
- 1月19日 柘植駅開業130周年記念跨線橋「かるたパネル」の設置披露式
- 1月27日 甲賀市神山・江田地域からの視察受入
- 2月1日 防災研修(蔵持地区まち協を視察)、観光研修(名張市郷土資料館等)
- 2月15日 救命入門講習会開催
- 2月19日 柘植駅開業130周年記念式典開催(キラッと輝け!地域応援補助金)
- 11月～2月 柘植地域防災時誘導看板(地域内5カ所)、多言語避難所看板(4カ所)を設置
- 1月～3月 交差点に「立て看板」設置
- 3月6日 CSF(豚コレラ)経口ワクチン散布説明会
- ※ 全世界的なコロナウイルス感染拡大を受け、各種会合は自粛されることに・・・
- 4月1日～ 市の新制度により、広報配布、貸館業務やセンター職員勤務体制が変更になる。
- 5月28日 定期総会を書面決議にて実施(包括交付金517.4万円、予算規模708万円)

未来へ続く節目をともに力めよう

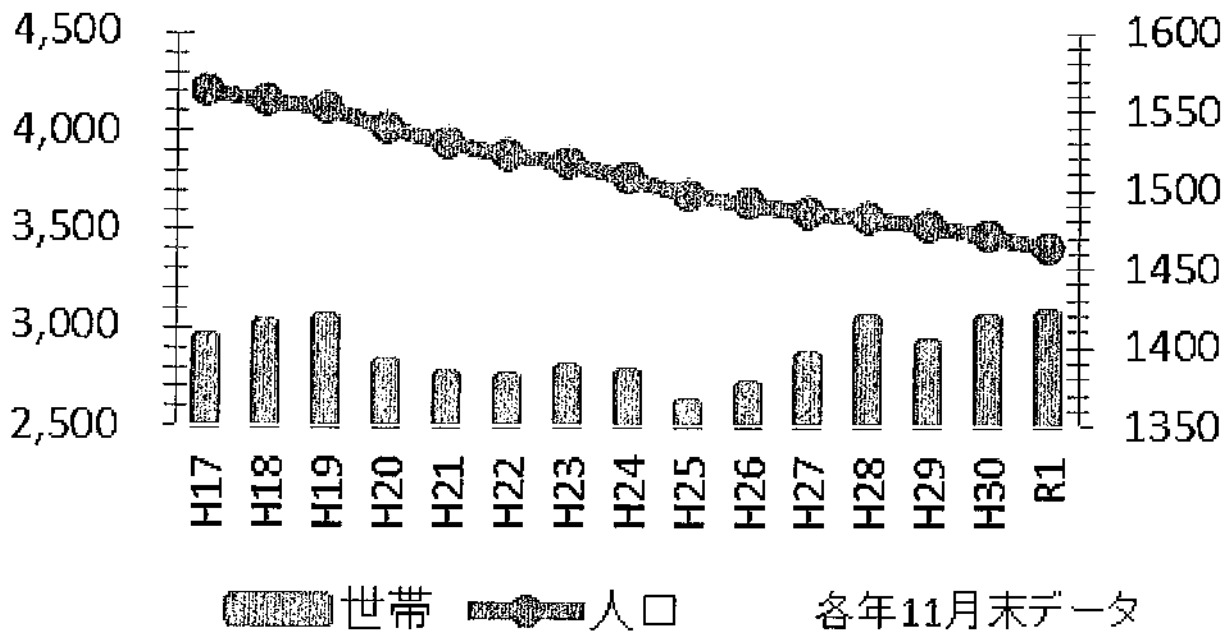


柘植駅跨線橋より北を望む

歴代・柘植地域まちづくり協議会役員一覧表(敬称略)

	総会	月日	会長	副会長	事務局長	会計	監事	部会(代表者)	区長
設立2004 ・ 2005年度	平成16 年 (2004)	2月16日	岡島久司	岡島正尚	西田方計	森藤君代	天井美耶 北川安昭	(分権自治)中西光尚、森川潔 (人権同和)高木康江、菊地晃子 (健康福祉)藤井明和、柿本弘司 (生活環境)丹羽康光、山岡尚久 (教育文化)富井聖文、岡島史子 (産業交流)辻上忠彦、福岡健二	東 中 北 南 西
2005年度 ・ 2006年度	平成17 年 (2005)	5月10日	岡島久司	岡島正尚 田中重之	西田方計	森藤君代	天井美耶 北川安昭	(分権自治)中西光尚、森川潔 (人権同和)高木康江、菊地晃子 (健康福祉)藤井明和、柿本弘司 (生活環境)丹羽康光、山岡尚久 (教育文化)富井聖文、岡島史子 (産業交流)辻上忠彦、福岡健二	東 中 北 南 西
2007年度 ・ 2008年度	平成19 年 (2007)	4月21日	岡島正尚	岡本武和 中森東	田中重之	岡島盛男	坂井弘英 川崎彰彦	(人権同和)高木康江、菊地晃子 (健康福祉)藤井明和、中川賢 (生活環境)西尾幸彦、松浦恵子 (教育文化)中村忠明、内田香代 (産業交流)柘植満博、亀井安之	東 中 北 南 西
2009年度 ・ 2010年度	平成21 年 (2009)	4月24日	岡本武和	清水一利 藤井克幸	岡島盛男	松浦恵子	金谷重義 松山和史	(人権同和)高木康江、菊地晃子 (健康福祉)藤井明和、富井満志 (生活環境)福川廣美、松山和史 (教育文化)中村忠明、谷田ちか (産業交流)山本進、平田正彦	東 中 北 南 西
2011年度 ・ 2012年度	平成23 年 (2011)	4月23日	清水一利	藤井克幸 福川廣美 半田愛	岡島盛男	松浦恵子	増田宗弘 山本進	(人権同和)橋本浩信、中村尚生 (健康福祉)藤井明和、柘植美智代 (生活環境)松山和史、西田方計 (教育文化)中村忠明、山本祥史 (産業交流)大橋史典、山本進 (女性)半田愛、坪洋子 (区長)福川廣美、松山利彦	東 中 北 南 西
2013年度 ・ 2014年度	平成25 年 (2013)	4月27日	清水一利	福川廣美 半田愛 坪健治	2013 岡島盛男 2014 西田方計	松浦恵子	稲森博史 松山利彦	(人権同和)橋本浩信、中村尚生 (健康福祉)藤井明和、柘植美智代 (生活環境)岡崎修美、松山和史 (教育文化)中村忠明、藤井洋子 (産業交流)杉本廣行、大橋史典 (女性)岩倉佳子、坪洋子 (区長)坪健治、阪井則行	東 中 北 南 西
2015年度 ・ 2016年度	平成27 年 (2015)	4月25日	2015 空席 2016 阪井則行	2015 阪井則行 半田愛 梅川正彦 2016 岡崎修美 半田愛 中川善博	西田方計	栗本悦子	町野恒郎 松山嘉之	(人権同和)橋本浩信、中村尚生 (健康福祉)柘植美智代、森下泰成 (生活環境)岡崎修美、城出憲一 (教育文化)西田哲也、中村忠明 (産業交流)佐藤孝一、杉本廣行 (女性)岩倉佳子、藪本弘子 (2015区長)梅川正彦、中川善博 (2016区長)中川善博、松山芳博	東 中 北 南 西
2017年度 ・ 2018年度	平成29 年 (2017)	4月25日	2017 空席 2018 半田三都生	2017 半田三都生 岩倉佳子 山岡幸五 西田祐治 2018 城出憲一 岩倉佳子 山岡幸五 西田祐治	西田方計	栗本悦子	林田民生 岡島秀夫	(人権同和)橋本浩信 (健康福祉)柘植美智代 (生活環境)町田盛次 (教育文化)西田哲也 (産業交流)佐藤孝一 (女性)平野絹子 (区長)山岡幸五、西田祐治 2018~区長部会は 「12区連絡協議会」に改称	東 中 北 南 西
2019年度 ・ 2020年度	平成31 年 (2019)	4月27日	城出憲一	2019 久泉剛 岩倉佳子 森下泰成 西尾光史 2020 中川輝一 岩倉佳子 森下泰成 西尾光史	西田方計	栗本悦子	伊室正一 森下仁	(人権同和)橋本浩信 (健康福祉)中川善博 (生活環境)内田泰成 (教育文化)松山文雄 (産業交流)西田方計 (女性活動)2019空席 2020より部会を廃止 (区長)森下泰成、西尾光史	東 中 北 南 西

柘植地域「人口・世帯数」の変化



高齢化率 4割ライン超える時代に 柘植地域の現状をデータで見てください

新年に当たり柘植地域の将来を考える材料にしてみてください！

★下表の数値は、市のホームページで閲覧できます。

QRコードで市統計をチェック



データは「外国人や区入りされていない方」等を含んだ総数です。(区民数とは異なります)

柘植地域の基礎データ

令和元年11月末現在

字名(区名)	世帯数	人口	男	女	高齢化率(昨年からの変化)	
東部	岡鼻	76	166	85	81	42.1%→47.0%
	小林	202	394	212	182	45.9%→47.4%
	柘植青葉台	144	364	174	190	22.4%→21.3%
中部	上町	104	281	138	143	39.0%→40.6%
	下町	133	324	151	173	42.6%→44.6%
北部	倉部	102	260	127	133	43.3%→43.7%
	小杉	92	277	128	149	41.3%→41.9%
南部	山出	67	164	79	85	49.1%→53.3%
	前川	221	468	227	241	36.8%→37.5%
	上村	45	123	61	62	44.9%→46.3%
西部	野村	74	203	91	112	41.6%→43.6%
	中柘植	163	378	183	195	39.4%→39.7%
柘植地域合計	1,423	3,402	1,656	1,746	平均39.7%→40.8%	
昨年同期比→	4増	70減	21減	49減	0.9%増	

山出区は2人に1人が高齢者時代！

※高齢化率は令和元年9月末現在 65歳以上人口 1,391人(9月末)

高度情報社会のいま、 柘植地域の情報も、ウェブの時代に…

パソコンはもちろん、
スマホやタブレットでも
見やすくなりました。

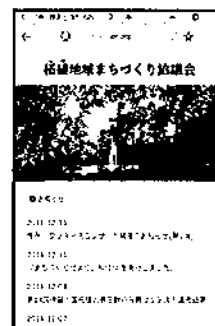


<http://tsuge.jpn.org>

上記は、柘植地域まちづくり協議会の
ホームページ（ウェブサイト）アドレスです。



柘植地域まちづくり協議会



柘植地域まちづくり協議会や

地域の情報満載

リンクも充実しています。

ぜひ、のぞいてみてください！登録しておいてください。

柘植地域まちづくり協議会事務局

〒519-1406 三重県伊賀市柘植町10647番地
柘植地区市民センター内

☎ 0595 (45) 8880

fax 0595 (45) 8883

URL <http://tsuge.jpn.org>

メール tsugenet@ict.ne.jp